

第 10 回 甲田地区小学校統合準備委員会【総務部会】要点筆記

開催日時：平成 27 年 7 月 21 日（火）
午後 7 時 00 分～9 時 10 分
開催場所：甲田中学校 二階図書室

参加状況	<p>■専門部会員（敬称略）</p> <p>豊原 稔和 甲立小学校区内の振興会代表 明木 一悦 小田小学校区内の振興会代表 今村 佳岳 小田東小学校区内の振興会代表 岡田 耕治 甲立小学校保護者会の代表 田邊 介三 甲立小学校保護者会の代表 ◎足助 智恵 小田小学校保護者会の代表（部会長） 田中 真二郎 小田小学校保護者会の代表 岩田 幸雄（欠席） 小田東小学校保護者会の代表 大前 浩介 小田東小学校保護者会の代表 光實 大輔（欠席） 甲立保育所保護者会の代表 若佐 久美子（欠席） 小原保育所保護者会の代表 ○富永 美香 小田東保育所保護者会の代表（副部会長） 山平 弥生（欠席） 甲立小学校の校長 川本 和暁 小田小学校の校長 信末 実智則 小田東小学校の校長 宮本 直彦（欠席） 甲田中学校の校長</p> <p>■安芸高田市</p> <p>叶丸 一雅 安芸高田市教育委員会教育次長 前 寿成 安芸高田市教育委員会教育総務課長 柳川 知昭 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係長 倉田 英治 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係主査</p>
傍聴者	1 名
会議次第 及び資料	別添のとおり
協議内容	<p><input type="checkbox"/>概要</p> <p>「統合校の位置」に関わって、前回出された意見について検討した。</p>
	<p><input type="checkbox"/>協議事項</p> <p>（1）「統合校の位置」に関わって前回出された意見について</p> <p>「現甲立小学校を統合校とした時に、最初に位置を決めたのは間違っていたのではないかと感じる。場所についてもう一度協議を願いたい。決して、後戻りをさせるといふ思いではなく安全のことを考えると、非常に不安を抱いている。」という意見が出された。</p> <p><u>（部会員から）</u></p> <p>・場所を確認したうえで位置を決めていくべきだった。非常に危険な場所（浸水被害、川の合流地</p>

点)であることを分かっているながら、もし災害が起こった場合に統合位置として合意したということに対し責任を持っていない。決して統合を反対しているわけではなく、間に合うのであれば安全な場所を考えたいという協力を進めたい。

・災害の危険性がある場所、避難場所に指定されていない場所が分かっているながらも、今まで進めてきた話を覆すようなことを意見として言えなかった思いがあった。前回この意見が出たことで本当に安全面が一番だと感じた。「夢と志」という言葉はずっと使われてきたが、我々大人が志を持って取り組まないと、子どもたちにも伝わらないのではないかと。安全と危険な場所どちらを選ぶかと言われたら当然安全な場所であり、妥協をせずに話を進めたい。

・自然災害に対してのリスクは何処にいてもあると思うが、問題点がみつかったのであればもう一度本腰で考え直し、保護者の不安をどう払拭できるかを考えていけばよいのではないかと。

・現況の甲立小学校の子どもたちもリスクを背負っている話だと思う。それは甲立小の PTA の中で話されているのか。今の段階で確認された事項を再度議論するという事は白紙に戻すということになるのではないかと。昭和47年の水害の経験以降、地域の方々の不安は当然あると思う。その中で小学校をその位置にせざるをえないという状況も理解できる。理想は危険性のない場所への新設ではあるが、しかし、実際に可能かと言われれば疑問を投げかけざるをえない。財政負担を住民は否定するし、当然自分も嫌である。そういった面ももう一度考えて話していただきたい。確認事項を白紙にすることは納得できない。

・部会で決まったことは軽いことではないし当然だということはある。しかし、不安がわいてしまった今このまま進めるべきなのか。覆すのではなく、もう一つ先のヴィジョンでより安全な所に視点を置く。道理からするとおかしいが、志を持って新しい道が切り開けるのであれば下がっていくという発想ではなくより先に進むという発想で議論が先に進めばと思う。

・この話は、次へのステップだと考えてもらいたい。予算的な理由でだめになるかも知れないが、100%絶対にできないということは無いと思うのでできる限りのこととして要望事項としてあげるべきだと思う。

・まずは総務部会として、より安全な場所を希望することを準備委員会へあげるのはいかがでしょうか。一旦準備委員会へあげて、さらに推進本部の意見を頂ければ話が進むのではないかと。

・総務部会で統合校の位置については甲立小学校と確認されている。新設校を希望としてあげることは確認事項そのものを度外視していることになるのではないかと。確認事項は確認事項であり、その付帯意見や要望ということで総務部会の意見としてあげるのは然るべきことであるが、根柢の確認事項まで揺るがすことはどうなのかと感じる。あくまでも決定事項ではないが、確認をとったものを覆してはいけないと思う。

・決定権の最終的形は地域それぞれの P T A、保護者、地域振興会が基本合意をされ、合意書を教育委員会が推進本部へ提示する段階が決定なのではないかと。基本的に議会にあげた段階で拒否をされることはない。議会云々よりまずは地元の合意形成がなされて決定であり、それがなければ統合もないものと思っている。

・ゆくゆくはさらに統合をする時が来るかもしれない。その時に甲立の学校が安全な場所にありきれいな施設であれば、残していけると思う。町に学校がなくなることは町が寂れていくことであり、ここで妥協しては未来がないのではないかと。統合はいいきっかけであり、簡単なことではないがここで頑張っている物を作りたい。

・統合目標年月日は、「平成29年4月」であり、現甲立小学校でスタートを切るが、準備委員会にあげる際に文言をよく練らなければ、将来的に安全を望むという部分が薄れる。理想で終わらせる

のではなく、進む道を具体的に残した文言で作成したい。

・将来的なことを考えた意見は具体的に詰めた案をだすべきで、そこを（新設等）目指すための仮のスタートだということを強めなければ、理想で終わってしまう。目指しているということが確実にわかる文章がいいと思う。

・子どもたちが大勢の中で教育を受けたり活動していく為には、平成29年4月の統合に向けていきたい。その中で安全面のこと、地域振興のこと、将来的なことを含めた上での要望にまとめていきたい。

（部会長から）

・平成29年4月を統合目標として現甲立小学校でスタートをする。この場で要望書の文章化は難しいのでも事務局の方で整理していただき、事前に部会員の方へ発送していただきたい。それをもとに次回グループ別の協議をしたい。

（事務局から）

・「統合目標年月日」と「統合校の位置」については総務部会、準備委員会双方で確認している。昨年度から何度も協議を重ね甲田地区の総意として決定をしていただいたと思っている。

（2）先進事例の視察について

・竹原市立忠海学園及び三原市立大和小学校を選定した。時期は8月の下旬～9月の上旬。時間は、1時間半～2時間程度。教育委員会事務局を通じて調整しておくので、次回に確認したい。

事務連絡

今回は、8月7日（金）に第11回の総務部会を開催する。

第 10 回甲田地区小学校統合準備委員会【総務部会】次第

日時 平成 27 年 7 月 21 日（火） 19 時 00 分～

場所 甲田中学校 二階図書室

1. 開 会

2. 協議事項

(1) 協議案件の整理について

○既に整理できているもの

- ・通学方法について
- ・遠距離通学助成について

○今回確認するもの

- ・学級編制について

○部会へ提案済で整理中のもの

- ・学校施設について
- ・体育館について
- ・学校プールについて
- ・運動場及び運動場の遊具について
- ・駐車場について
- ・通学路について

(2) 先進事例の視察について ※教育委員会を通じて調整中

時期 平成 27 年 8 月下旬～9 月上旬（授業見学可能な場合）

時間 各校施設見学を含めて 1 時間半～2 時間程度

視察先候補

○三原市立大和小学校（三原市教育委員会 教育振興課）

○竹原市立忠海学園（竹原市教育委員会 学校教育課）

※8 月下旬は引越し作業

（ 目的
対応希望者
質問事項
日程等 ）

(3) その他

- ・「統合校の位置」に関わって前回出された意見について

3. 事務連絡

- ・次回開催予定 平成 年 月 日（ ）

4. 閉 会